

平成26年度

平塚市次世代育成支援行動計画進行管理総括表
(暫定版)

事業数	106 事業
担当部署	22 部署

進捗度	5	90 件
	4	12 件
	3	2 件
	2	0 件
	1	2 件
	-	1 件

1 ありがとう！自分のいのち・みんなのいのち

進捗度	5	5 件
	4	0 件
	3	0 件
	2	0 件
	1	0 件

1 ありがとう！自分のいのち・みんなのいのち

No	計画事業名	担当課	事業の概要	平成26年度の目標	平成25年度事業実績	進捗度	平成26年度事業実績	進捗度	【参考】次年度の事業展開とその判断理由	事業実施に当たっての課題	備考
(1) 子どもの権利の確保											
1(1)1	人権擁護意識の普及・啓発事業	人権・男女共同参画課 教育指導課	「児童の権利に関する条約」や人権について、パンフレット、広報ひらつかなどを通して、権利主体としての子どもについて市民の理解促進に努めます。	・事業参加者数及び対象者数(3,800人) ・人権メッセージ展の審査への参加(年1回)	・人権相談会(相談員：人権擁護委員)を原則毎月第1、第3火曜日に市役所会議室で実施(24回開催) ・人権メッセージ展作品の審査を行った。(校内での事前審査を経て、9中学校から寄せられた168作品の審査を行い、選出した29作品を教育総務課に提出した。) ・神奈川県ゆかりの「特定失踪者」パネル展示 会期：9月17日(火)～27日(金) 場所：市役所1階市民ホール ・人権キャンペーンの実施 9月29日(日)市民活動センターまつりにて啓発物品を配布 9月29日(日)市民活動センターまつりにて啓発物品を配布 9月29日(日)市民活動センターまつりにて啓発物品を配布 11月4日(月)平塚商業まつり会場にて、啓発物品を配布 1500組(人権標語タオル1500枚、人権リーフレット「育んでいきますか?」1500部) 12月3日(火)平塚駅周辺にて人権週間に伴う街頭キャンペーン 啓発物品を配布 1189個(ウェットティッシュ955個、手袋164個、ミニタオル70枚) ・人権メッセージ展の開催 会期：12月4日(水)～10日(水) 場所：市役所本館1階多目的スペース ・人権講演会 日時：11月14日(木) テーマ：子どもと人権～大好きという思いを～ 参加者数：123人 ・人権メッセージ展作品の審査を行った。(校内での事前審査を経て、8中学校から寄せられた132作品の審査を行い、選出した30作品を教育総務課に提出した。)	5	・人権相談会(相談員：人権擁護委員)を原則毎月第1、第3火曜日に市役所本館会議室で実施(23回開催) ・神奈川県ゆかりの「特定失踪者」パネル展示 会期：9月16日(火)～26日(金) 場所：市役所本館1階多目的スペース ・人権キャンペーンの実施 9月28日(日)市民活動センターまつりにて啓発物品を配布 450組(クリアファイル450部、人権ポケットブック「外国人と人権」450部、人権啓発用チラシ2種類各450部) 11月2日(日)平塚商業まつり会場にて、啓発物品を配布 1500組(人権標語タオル1500枚、人権ポケットブック「外国人と人権」1500部) 12月2日(火)平塚駅周辺にて人権週間に伴う街頭キャンペーン 啓発物品を配布 1189個(ウェットティッシュ955個、手袋164個、ミニタオル70枚) ・人権メッセージ展の開催 会期：12月4日(水)～10日(水) 場所：市役所本館1階多目的スペース ・人権講演会 日時：11月14日(金) テーマ：子どもと人権～大好きという思いを～ 参加者数：123人 ・人権メッセージ展作品の審査を行った。(校内での事前審査を経て、8中学校から寄せられた132作品の審査を行い、選出した30作品を教育総務課に提出した。)	5	現状の規模で継続	組織改正により平成25年度より、指導室から教育指導課へ担当課名変更	
1(1)2	子どものための相談機能の充実	青少年課	子ども自身や保護者が相談できる電話・来室相談や学校における相談の機会など、子どものための相談体制を充実します。	相談機能を充実	・相談件数 青少年相談(月～土)253件 ヤングテレホン相談(月～土)433件 ヤングテレホンメール相談164件 ・相談室の啓発チラシを6月、9月、1月順に市内小・中・高校、大磯高校、二宮高校、各公民館・図書館に配布した。(年3回、各約32,000部) ・公民館だよりへの青少年相談室の広報記事の掲載を依頼。 ・相談室の啓発カードを11月～12月に市内小・中・高校、大磯高校、二宮高校、各公民館・図書館に配布した。(約32,000枚)	5	・相談件数 青少年相談(月～土)256件(12月末現在) ヤングテレホン相談(月～土)226件(12月末現在) ヤングテレホンメール相談70件(12月末現在) ・相談室の啓発チラシを5月、9月、1月順(予定)に市内小・中・高校、大磯高校、二宮高校、各公民館・図書館に配布した。(年3回、各約32,000部) ・公民館だよりへの青少年相談室の広報記事の掲載を依頼。 ・相談室の啓発リーフレットを10月～11月に市内小・中・高校、各公民館・図書館に配布した。(約30,000枚)	5	現状の規模で継続		
1(1)3	保護を必要とする子どもへの対策の充実	こども家庭課	・家庭児童相談室と県の児童相談所との連携を密にし、保護を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 ・里親制度の啓発・普及に努めます。	保護を必要とする子どもへの対策を充実	・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 ・里親制度紹介講座及び里親相談(県中央児童相談所主催)について、広報ひらつかへの掲載、関係機関へのチラシの配布などを行い、里親制度の啓発・普及に努めた。	5	・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 ・里親制度紹介講座及び里親相談(平塚市児童相談所主催)について、広報ひらつかへの掲載、関係機関へのチラシの配布などを行い、里親制度の啓発・普及に努めた。	5	現状の規模で継続		
(2) 児童虐待の防止											
1(2)1	児童虐待防止ネットワークの充実	こども家庭課	児童虐待は、家庭児童相談室を中心に相談を受け、児童の処遇等対応していますが、必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関との連携を取り、対応しています。	関係機関との連携を充実	・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議47回	5	・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議3回、援助方針会議3回、特定妊婦等支援会議2回、個別ケース検討会議34回 (平成26年12月末現在)	5	現状の規模で継続	関係機関との連携	
1(2)2	養育支援訪問事業	健康課	保護者の疾病などの理由により、児童を養育することに支障が生じた家庭に対して、安定した児童の養育が可能となるよう訪問による支援を実施します。	保健師・助産師等による訪問、ヘルパー訪問を充実	件数：4件 実施内容： ①訪問30回(保健師訪問24回) ②電話相談44回(保健師電話29回) ③家事援助(ヘルパー)：68回 計67時間 ④所内面接、同行受診等：18回(保健師：11回)	5	件数：3件 実施内容： ①訪問17回(保健師訪問12回) ②電話相談15回(保健師電話15回) ③家事援助(ヘルパー)：20回 計33.5時間 ④所内面接、同行受診等：0回 (平成26年11月30日現在)	5	現状の規模で継続		

以下省略